

図画工作, 美術

表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた授業づくり

「造形的な見方・考え方」とは

※下線は図画工作, () は美術

感性や、想像力を働かせ、対象や事象を、形や色などの造形的な視点で捉え、自分のイメージをもちながら (自分としての) 意味や価値をつくりだすこと

授業づくりのポイント

※数字は学習活動の場面例と対応

- ① 指導事項を踏まえて目標と評価規準を設定するとともに、表現や鑑賞の能力を発揮している具体的な児童生徒の姿を想定した上で、学習状況を見取り、指導と評価に生かす。
- ② 鑑賞の学習で学んだことを発想や構想に生かし、また、発想や構想で学んだことを鑑賞の学習に生かすことができるように、学習の中心を明確にして双方の学習に働かせる。
- ③ 一人一人の見方や感じ方、発想や構想、表現の工夫等に対して造形的な視点を基に価値付けることで、児童生徒が自らの学びを実感したり、思考を深めたり広げたりできるようにする。
- ④ 対象や事象を造形的な視点で捉え、感じ取ったことや考えたことなどを基に、構想を練ったり、言葉で整理したり、話し合ったりしてお互いの見方や感じ方、考え方などを交流する時間や場の充実を図る。

学習の中心とは、目標 (2) 前半部分「造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方 (表現の意図と工夫、美術の働き) などについて考え」に当たる。

※下線は図画工作, () は美術

学習の中心を軸に、「表現における発想や構想」と「鑑賞」の相互の関連を図った学習活動の場面例

中学校第1学年 題材名「心ひかれる風景」(絵に表す活動)

指導事項・「A表現」(1) ア (ア) (2) ア (ア)
・「B鑑賞」(1) ア (ア)
・〔共通事項〕(1) ア イ

○導入で風景をテーマとした美術作品を鑑賞し、造形的なよさや美しさを感じ取ったり、考えたりしながら作者の心情や表現の意図と工夫について考える。

T: 作者が風景のどこに心ひかれたか、表し方から考えてみましょう。

S1: 作者はこの山の力強さにひかれたのだと思います。太い線で描かれているから、力強く堂々としたイメージを受けます。

S2: 様々な色が使われていることから、季節や時間によって違う山の表情に心ひかれたのではないかと思います。

T: 線や色彩に着目することで作者の心情や表現の意図と工夫について想像することができますね。

学習の中心を基に作者の心情と表現の関わりについて問い掛け、感じ取ったことや考えたことを表現に生かすことができますようにします。②

形や色彩などの造形的な視点を基に、生徒の気づきを価値付けます。③

○心ひかれた風景を基にした作者の心情や表現の意図と工夫を視点にアイディアスケッチを見合い交流する。

S1: S2さんは全体的に暖色を使っていて、ほっとするような温かさが感じられるよ。私のスケッチは、見守ってくれているようなどっしりした感じが表現できているかな。

S2: 画用紙を縦に使った構図にしてみたら、杉の木のだっしりとした大きさが、より感じられるかもしれないね。

S1: なるほど。構図を見直して制作を進めていこう。

「アドバイスがほしい」「感想が聞きたい」など、生徒が必要を感じる場面を想定して、発想や構想に対する意見交流の場を設定します。その際に、学習の中心となる考えや造形的な視点でスケッチを捉え多様な表現に触れさせたり、考えを交流させたりすることで感じ取り考えたことを自分の表現に生かすことができますようにします。④

本題材の学習の中心

心ひかれる風景を基にして
造形的なよさや美しさなどを感じ取ったり考えたりすること
作者の心情や表現の意図と工夫について考えること

○心ひかれた風景を基に造形的なよさや美しさを感じ取ったり、考えたりしながら主題を生み出す。

S1: 私は校庭のどっしりとした杉の木を描きたい。私たちがいつも見守ってくれているような感じを表現したいな。

S2: 私は校舎の階段を描こうと思ったけど、どのように表現すればよいか思い付かないな。

T: S2さんが、階段を選んだ時の思いを教えてください。

S2: この階段は、夕方になると夕焼けの色に染まって日中とは違った雰囲気になります。その色に包まれると、温かてほっとした気分になるので階段を選びました。ほっとする場所という主題で表してみたいと思います。

○主題を基に表現の意図と工夫を関わらせて考えるなどして、構想を練る。

S1: どっしりとした感じになるように太い線で輪郭線を描いたり、大きさを際立たせるために、周りの木を小さく描いてみたりしようかな。まずはアイディアスケッチで線の太さや配置を試してみよう。

心ひかれる理由を基に主題を生み出しているかを見取り、生み出せていない生徒には選んだ理由や場所から感じ取ったことなどを問い掛けることにより、生徒が題材を自分のものとして受け止め、主題を考えることができますようにします。①

学習の中心を軸に相互の関連を図った学習を積み重ねることが、より豊かで創造的な思考力、判断力、表現力等の育成につながります。

